

令和3年度一般会計補正予算 5億6619万円を追加し  
**総額276億3936万円**

#### 津屋崎公民館管理運営費

老朽化が進んでいる津屋崎公民館の解体工事の設計を行う費用 511万円



解体される津屋崎公民館

#### 市民税課税事務費

確定申告会場の混雑緩和を図るため、申告の事前予約受付を実施し、そのためのコールセンターを設置する。また、インターネットによる事前予約受付のシステムを構築する費用 482万円

#### 中学校校舎施設整備事業費

福岡中学校体育館のトイレに

ついて、洋式化および乾式化を行う費用 1258万円

津屋崎中学校の特別支援教室の不足に対応するため、特別教室の改修工事を行う費用 3171万円

#### 感染症対策事業費

市内で運営している事業所（保育所、小中学校、介護保険事業所、障害福祉サービス事業所等）の職員と介護保険事業所等の利用者に対し、新型コロナウイルス抗原検査キットの配布を行う費用 448万円

#### 水産振興一般管理費

コロナ禍で魚の価格が下落しているため、水産物の販売促進に関する経費の補助および漁業者が漁協に対して負担する販売手数料の一部を補助する費用 1075万円

#### 電算システム維持管理事業費

市役所庁舎にインターネット

Wi-Fiを設置し、高速な回線を準備することで、WEB会議等が行える環境を整備し、デジタルトランスフォーメーション（DX）化を進める費用 1475万円

#### 幼稚園一般管理費

幼児教育無償化の給付を受けていない、多様な集団活動事業を行う施設を利用する満3歳以上の幼児の保護者が支払う利用料に対し補助を行う費用 120万円

#### 道路新設改良事業費

歩行者が通行する鞍手踏切の軌道整正や踏切前後の歩道整備を行う追加費用 1890万円



歩道整備が行われる鞍手踏切

### 人事案件に同意

《人権擁護委員候補者の推薦》

花田 久美子氏

任期 令和4年1月1日から  
 令和6年12月31日まで

### 陳情

辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情

「新しい提案」実行委員会

責任者 安里 長従

全国青年司法書士協議会

会長 阿部 健太郎

「新型コロナウイルスワクチン接種の即時中止を求めます」に関する陳情書

宮原 敏

網膜色素変性症における暗所視支援眼鏡の公費助成を求める要望書

福岡県網膜色素変性症協会

会長 野口 建

## 学童保育所および放課後等デイサービスの現状と課題について調査

学童保育所は、共働き家庭の増加や保護者の勤務形態の多様化などにより、放課後の子ども居場所づくりとして整備・拡充が求められている。また、放課後等デイサービスも利用者数や事業所数が大きく伸び、生活能力向上のために必要な訓練や社会との交流促進などの支援が必要となっている。それぞれ、現状と課題について調査した。

### （市民福祉委員会所管事務調査）

#### ▼学童保育所について

学童保育所は、福津市学童保育所条例で規定され、市内全小学校に18カ所、民間委託で1カ所設置されている。合計定員は、現在900人である。人口増のため、平成27年以降は新増築により毎年約50人ずつ定員を増やし、400人増員し対応してきた。

今後も児童数の増加が予測されるため、ニーズや子どもの状況に応じた対応が必要になってくる。

そのためにも加配の予算や人員を確保し、支援の充実を図る必要がある。

#### ▼放課後等デイサービスについて

事業所は12カ所、利用者数は平成24年度が26人だったが現在は214人と急増している。利用者は、小学生から高校生で、放課後と長期休暇中に利用している。利



児童数の増加が予測される学童保育所

用申請は、障害者手帳もしくは主治医の意見書が必要で、福祉課窓口で相談を受けている。

国においても障がい児通所支援のあり方に関する検討会が開かれ、市もその議論の結果により対応していく。充分な相談支援を行うためには、障がいの種別に応じた情報共有が必要となるため、相談窓口の充実と基幹相談支援センターの早期設置が求められる。

## 農業政策の現状と今後の課題および産業廃棄物処理等関連施設の現状について調査

市の基幹産業の一つである農業は、遊休農地の増加や有害鳥獣による農作物の被害、後継者不足などで、取り巻く環境は年々厳しい状況である。このような問題に対し、市の農業政策の現状と課題について調査した。また、産業廃棄物処理等関連施設の概要および福岡県の立ち入り検査の現状、規制する条例等の検討についても調査した。

### （建設環境委員会所管事務調査）

#### ▼農業政策の現状と今後の課題について

社会の変化に伴い、農業は専業から兼業へと変化しつつあり、後継者不足も顕著である。所得が見込める品種（いちごなど）に集中した支援で後継者づくりを強化する必要がある。また、農業に取り組みやすい基盤整備やほ場の整備、市街化調整区域内の遊休地を活用した計画的な企業誘致など、農地管理や農業施設管理が必要である。鳥獣害対策では、農業従事者と市と関係団体が連携し、課題解決に向けてさらに協議をしていく必要がある。

#### ▼産業廃棄物処理等関連施設の現状について

産業廃棄物処理等関連施設の多くは農業地域や山間部にあり、施設から排出される水がため池等に



農家が設置した箱民に入るイノシシ

流入して農業に被害をおよぼしかねないこと、施設の溜まり水が地下に浸透し飲料水が汚染されることなど、近隣住民の多くが水の問題を大変危惧している。市内の多くの事業所は、「廃棄物の処理および清掃に関する法律」の適用外で、ヤード施設に対しては、国や県による規制の強化を訴えるとともに、他自治体の条例などを参考に、少しでも有効な規制ができるような研究が必要であると考えられる。

## 公共施設使用料の基本方針を策定、条例改正を提案

市は、公共施設使用料の算定方法を統一し、利用する人として人の負担の公平性を図ることを目的とした「公共施設使用料設定に係る基本方針」を策定した。この基本方針に基づき、各常任委員会に付託された関係条例の改正について審査した。

## 市健康福祉総合センター条例等を改正

賛成少数で否決

基本方針に基づき、健康福祉総合センター、福岡会館の使用料を見直すため、各関係条例について改正を行う。

### 主な質疑

**問** 福岡会館の使用料は前回から約半年での改定となるが、利用者へ丁寧な説明をしたのか。また、中期財政見通しの中で財源不足を生じた場合、さらにこの使用料を改正することはあるか。

**答** 議会へ上程する前に利用者へ具体的な使用料の説明を行って

はいない。財源不足が生じたからという理由でさらに使用料を改正するということなく、個別施設計画の中で複合化や統合など、さまざまな検討を加え進める。

### 主な意見

**反対** 今回の議案は「基準の統一化」という言葉だけで上程されたという印象が強く、特に福岡会館については7月に新料金体制になっており、納得できる要素が残念ながら少ない。激変緩和措置が取られているが、市民団体にとっては負担につながる。市民団体の活動を推進するのであれば、近隣市を参考に今後の減免を考えていただきたいという提案も加えて、この議案には反対する。

## 市税条例を改正

全員賛成で可決

地方税法等の一部を改正する法律等が公布された。それに伴い、たばこ税の税率などの市税条例を改正する。

(市民福祉委員会審査報告)



## 市立学校の施設の開放に関する条例等を改正

賛成なしで否決

基本方針に基づき、市の学校施設、公民館、郷づくり施設および総合文化センターなどの使用料を見直すため各関係条例について改正を行う。

### 主な質疑

**問** 今回、利用料改定になった経緯は。

**答** 第1次行財政改革大綱の時から使用料は、利用する人と利用しない人の公平性を議論してきた。施設使用料基本方針の整理ができたので、その基本方針に従い条例改正を求めた。

**問** 体育施設や公民館等の利用者および利用団体にヒアリングを行ったのか。

**答** 事前説明およびヒアリング等は実施していない。

### 主な意見

**反対** 改定根拠は理解できるが、市民への確認がなかった点や利用者数・利用状況の把握、改定に至る経緯が非常に不明瞭かつ不十分であるため反対である。



利用者が納得できる使用料改定の説明を

## 部設置条例を改正

全員賛成で可決

農林水産業の課題に取り組むため、都市整備部所管の農林土木および漁港の整備、海岸の保全および整備に関する事務を地域振興部に移管する改正を行う。

### 主な質疑

**問** 人員の配備や引継ぎは適切に行われるのか。

**答** 地域振興課農林水産振興係と建設課農林水産施設整備係が新しい課になる。人員配置は変更ないが、適切な引継ぎを行う。

(総務文教委員会審査報告)



## 津屋崎千軒民俗館条例等を改正

### 賛成少数で否決

基本方針に基づき、津屋崎千軒民俗館、津屋崎ヨットハーバー、公園の有料施設、農林漁業体験実習館、農産物直販施設、お魚センター、まちおこしセンター、行政・観光情報ステーションなどの使用料を見直すため各関係条例の改正を行う。

#### 主な質疑

**問** ほとんどの公園施設で料金が微増である。また、市外利用者の料金が2倍の設定となっている。それらの算出根拠は。

**答** 公園使用料の改定は、福岡都市圏スポーツ施設広域利用の対象に位置づけられている関係から、他施設との比較が必須と考えている。比較検討の上で、また利用者への事前調査により、基本的には市内利用者は1.1倍から1.2倍の上げ幅で、市外利用者については、都市圏内のほとんどの市町村で2倍の設定となっているため、準ずる形とした。

**問** 運動公園の使用料は市内利用者との優遇措置があるが、ヨットハーバーにはないのか。

**答** ヨットハーバーの市内利用者は全体の4分の1程度で、市外利用者も含め受益者負担を100%と考えており、市民全員が利用する施設ではないことから、優遇は考えていない。

#### 主な意見

**反対** 利用しない人との公平性の観点から、利用者の負担を高めることは、各施設の設置目的を達成することに相反すると考える。また、使用料見直しの根拠である公共施設使用料設定に係る基本方針の施設分類を、市民目線で精査して見直すべきと考える。



公共施設使用料の見直しを市民目線で

(建設環境委員会審査報告)

## 賛否表

| 結果 | 議案名                                   | 議員名 | 福井 崇郎 | 森上 晋平 | 秦 浩 | 石田 まなみ | 八尋 浩二 | 田中 純子 | 中村 晶代 | 尾島 武弘 | 下山 昭博 | 高山 賢二 | 中村 清隆 | 蒲生 守 | 横山 良雄 | 戸田 進一 | 榎本 博 | 梶村 公彦 | 米山 信 | 江上 隆行        |
|----|---------------------------------------|-----|-------|-------|-----|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|------|-------|------|--------------|
| 否決 | 議案第36号 福津市立学校の施設の開放に関する条例等を改正することについて |     | ●     | ●     | ●   | ●      | ○     | ●     | ●     | ●     | ●     | ●     | ●     | ●    | ○     | ●     | ●    | ○     | ●    | 議決は表決に参加しません |
| 否決 | 議案第38号 福津市健康福祉総合センター条例等を改正することについて    |     | ●     | ●     | ●   | ●      | ○     | ●     | ●     | ●     | ●     | ●     | ●     | ●    | ○     | ●     | ●    | ○     | ●    |              |
| 否決 | 議案第39号 福津市津屋崎千軒民俗館条例等を改正することについて      |     | ●     | ●     | ●   | ●      | ○     | ●     | ●     | ●     | ●     | ●     | ●     | ●    | ○     | ●     | ●    | ○     | ●    |              |

○は賛成 ●は反対 ーは欠席

下記議案については全員賛成で同意・可決

- 同意第 7号 人権擁護委員候補者の推薦について
- 議案第29号 令和3年度福津市一般会計補正予算（第3号）について
- 議案第30号 令和3年度福津市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）について
- 議案第31号 令和3年度福津市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）について
- 議案第32号 令和3年度福津市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）について
- 議案第33号 令和3年度福津市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第1号）について
- 議案第34号 令和3年度福津市公共下水道事業会計補正予算（第1号）について
- 議案第35号 福津市部設置条例を改正することについて
- 議案第37号 福津市税条例を改正することについて
- 議案第40号 令和3年度福津市一般会計補正予算（第4号）について